



ご家庭でお子様とお過ごしのご保護者様へ

子ども達の健やかな成長を願って

園長 吉村 雅子

園庭の桜の木には薄緑色の若葉が広がり、太陽の光に照らされてみずみずしい光を放っています。花壇では、アネモネ・パンジー・チューリップなどの可憐な花が、春風にやさしく揺られ、何かを話しかけているようです。畑に足を向けると、年長の子ども達が育ててきたソラマメが、花の時期を終え、豆を抱いたさやを空に向かって、力強く伸ばしています。

命の営みが続き、生長を続けている園の植物を見ていると、子ども達の弾むような笑顔がよみがえってきます。本来ならば、新しい年度を迎え、元気いっぱいの子供達が園庭を駆け回っているところですが、新型コロナウイルス感染拡大防止のため5月31日（日）まで休園をさせていただきます。

子ども達は、それぞれのご家庭で守られ、園庭で生長を続けている植物のように、日々成長を遂げていらっしゃると思います。

直接保育が出来ない私達、園の職員ができることには、限りがありますが、お子さんの成長の一助や保護者の方の育児についての悩み解消のきっかけになることを願って、今後、情報発信をしていきます。北方町教育委員会のご尽力により、近日中に町立幼稚園のホームページを開設する運びとなりました。こちらも活用しながら発信していきますのでよろしくお願いいたします。（発信準備が出来ましたら「すぐメール」にてお知らせします。）



【4月19日 園風景から】花壇では、可憐な花が風に揺られています。畑では、年長の子ども達が育ててきたソラマメが実を結び、こんなに大きくなりました。



「3密を避ける」「手洗い」「外出時のマスク着用」などの感染症対策のほか、下記のことにも配慮して、健康的な毎日を過ごしましょう。

【休園中のご家庭での過ごし方】

① 生活リズムを一定にして、健康的な生活をしましょう。

通園している時と同様の生活リズムで過ごしましょう。

『早寝 早起き 朝ご飯』を心がけ、食事内容もできるだけ偏らないように配慮しましょう。

エネルギーを発散し、健康を維持するためにも、家族や個人でできる運動も一日の日課に入れましょう。



② 生活習慣を付けるチャンスにしましょう。

繰り返しによる習慣づくりができる機会です。挨拶・服の着脱・手洗い・片付け・トイレトレーニングなどの生活の自立につながる習慣づくりをはじめ、偏食の軽減・食事のマナーや箸の使用などに段階的に取り組んでみましょう。わずかな進歩を見逃さず、できたことを褒めながら、あきらめずに続けてみましょう。

生活の自立は自信につながり、進んで遊びに向かったり、お友達に自分から声をかけたりする積極性の原動力となります。



③ お子さんの発想や想像力を大切にして、一緒に楽しみましょう。

想像力が育ち、イメージの世界と現実の世界を往き来する幼児期の子ども達です。積み木を自動車に見立てたり、自分が動物になって遊んだりします。また、ごっこ遊びが出来るようになると、相手と自分の役割を考え、相手に応じてストーリーを作りながら遊びを展開します。

子ども達は、こうした遊びを通して、想像力を豊かにし、また周囲の人とイメージを共有しながら遊ぶ喜びを味わうことで、人への安心感を抱き、仲間意識を養っていくのです。

お子さんと一緒にイメージの世界で楽しめるのは幼児期だけです。掃除・洗濯・炊事と忙しい毎日ですが、少し手を休めてお子さんの遊びに付き合ったり、絵本の読み聞かせをしたりして、想像の世界と一緒に楽しむ時間を作ってみましょう。

④ 年長児や生活の自立が出来るお子さんは、お手伝いなどを通して、人に役立つ喜びを味わえる機会を作りましょう。

通常の保育が始まっていれば、年長のお子さんは、新入園の子ども達のお世話をしている時期です。4月の身体測定や5月の給食開始の際には、衣服の着脱や手洗いの援助などを行ってきました。集団の一員としての自覚が徐々に育ち、同じ目的に向かって取り組んだり、自分が役立つことに喜びを感じたりするようになってきます。年長のお子さんは、意欲を引き出しながら、簡単なお手伝いができるようにしては、どうでしょうか。



毎日の育児は疲れます。

完璧を目指さず、お子さんと楽しく過ごしましょう。

休園期間が長くなり、お疲れの方も多いと思います。時には家事の手を休めて、お子さんと楽しく過ごしましょう。

保護者の皆様からご家庭で楽しく過ごすヒントをいただきました。

子どもと一緒に楽しんでいます。

一緒にクッキーを焼いて、おいしくいただきました。



子どもが好きなダンスのDVDを用意して、一緒に踊っています。



先週、お電話でお子さんの様子をお聞きした際にご家庭で実践されていた内容例です。
お宅でもいかがですか。

トイレトレーニングを進めています。

発想の豊かさに感心し、一緒に楽しんでいます。



子どもの発想に感心しています。そのよさを大切にしています。



長いお休みを利用して、トイレトレーニングに取り組んでいます。


それでも、育児に悩むことがありますね。

そんな時は、園にご相談ください。

休園の意味を頭では理解していても、お子さんの行動の一つ一つが気になったり、目の前で繰り返される兄弟げんかに声を荒げたりするなど、お子さんがご家庭にいる期間が長くなると保護者の方のストレスも積み重なってくるのは当然です。園でも『子育て相談』をいたしますので、遠慮なくお電話ください。担任が対応できないときは、時間をいただくか、別の職員が対応させていただきます。

保護者の方が、心身ともに健康であることが、お子様の健康につながります。上手にストレスを発散することも大切にしてください。

【園に相談したいときは】

 058-324-5721 をお願いします。

園からの発信専用電話は、070-3327-0276 です。園からの連絡は、この電話からしています。

図書館は、閉館。書店は、過密。

どこに行けば、想像力が広がるお話が聞けるの？

工作をして遊ぶには、何を見ればいいのか？

という方は、下記の番組を活用してみてもはどうでしょうか。

① NHK Eテレで放映中の NHK for School (幼保用)

「にほんごであそぼ」「ピタゴラスイッチ」「みいつけた！」

「ノーゾーのひらめき工房」などの番組が見られます。

② スマホアプリ NHK キッズ

お子さんの年齢に合わせた遊びの動画がたくさん見られます。

「利用時間の設定」や「目と画面の距離チェック設定」、「お子さんへの声かけ例の表示」などもあり、使いやすいです。

目の健康を考慮し、時間を決めて親子で視聴しましょう。親子のコミュニケーションを活発にするきっかけづくりとして活用するのもよいでしょう。